

大麦の単収向上のポイントは、早めの確実な排水対策です。水稻収穫後、速やかに排水溝を設置するなど、ほ場が乾くように努めましょう。また、播種期の降雨後でも、速やかに播種作業に入れるようにしておきましょう。

1. ほ場の準備

①排水対策

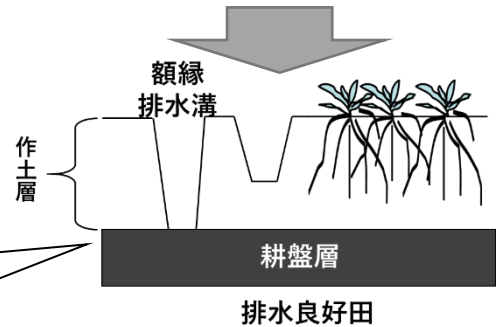
- ・稲の収穫後、速やかに額縁排水溝と7~8m間隔に基幹排水溝を設置してください。
- ・排水溝は掘り下げた排水口に確実につながしましょう。



秋の収穫後、速やかに排水溝を設置し、排水口に確実に連結

②土壌 pH の改善

- ・土壌 pH が 6.0 ~ 6.5 となるよう、耕起前に石灰質資材(珪酸石灰: 100kg/10a 以上)を必ず施用してください。



停滞水なく、
根張り良好!

排水良好田

2. 播種

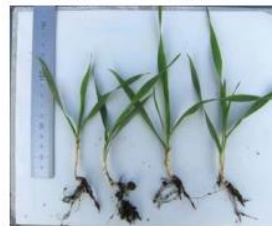
①種子消毒

薬剤名	消毒内容	使用方法
ベンレートT水和剤 20	種子重量の 0.5% 粉衣	種子 10kg に対して薬剤 50g と水 200ml を混和

②耕起・畝立て・播種

- ・畝幅は 3m 以内とし、高畝にしましょう。
- ・溝は「幅 30cm、深さ 20cm 以上」とし、排水口に必ず連結してください。
- ・耕起~播種、作溝の一連の作業は一日で行いましょう。
- ・降雨後は、溝の手直しを随時行い、ほ場内の停滞水を排除しましょう。
- ・ドリル播きの播種深さは、3cm 程度にしましょう。

10/5播種 10/28(播種後23日目)



播種深度: 適正(3~4cm)



播種深度: 深播き(7cm)

播種深度が深いと①出芽苗立ちが遅れて不揃い
②湿害を受けやすい ⇒ 初期生育不足に!

<播種時期ごとの播種量の目安>

播種時期	目標苗立数 (㎡あたり)	播種量の目安(10a 当たり)	
		ドリル播	表面散播
9月下旬	140本	6.0kg	6.5kg
10月上旬	150本	6.5kg	7.0kg
10月中旬	200本	8.5kg	9.0kg

<基肥量の目安>

施肥体系	肥料名	施用量(10a 当たり)
一発	エコ大麦44号	45kg
分施	化成肥料オール14	40kg

令和4年産から一発肥料が変わりました。肥料の溶出率がやや高い傾向にあるので、地力に応じて減肥しましょう。

③除草剤(ドリル播きの場合)

農薬名	散布量(10a 当たり)	散布時期	注意点
ゴーゴーサン細粒剤F	5~6kg	播種後出芽前 (雑草発生前)	表面散播のほ場には使用しないでください。
ゴーゴーサン乳剤	300~500ml (希釈水量 70~150ℓ)		